

運用報告書 (全体版)

第23期<決算日2024年3月11日>

MHAM日本株式<DC年金>

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式	
信託期間	2001年11月5日から無期限です。	
運用方針	わが国の株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	MHAM日本株式<DC年金>	日本株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	日本株式マザーファンド	わが国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	日本株式マザーファンドを通じてベンチマークである東証株価指数(TOPIX)を上回る運用成果を目指します。株式の組入比率は高位を保つことを基本とします。銘柄選定にあたっては、企業調査による中長期的な利益成長性の分析、株価水準の評価などに基づき投資魅力が高いと判断される銘柄を厳選し投資します。	
組入制限	MHAM日本株式<DC年金>	株式への実質投資割合には制限を設けません。 同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。
	日本株式マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎期、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「MHAM日本株式<DC年金>」は、2024年3月11日に第23期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

MHAM日本株式<DC年金>

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			東証株価指数 (TOPIX)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(ベンチマーク)	期中騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
19期 (2020年3月9日)	12,883	0	△8.5	1,388.97	△12.2	96.2	—	1,803
20期 (2021年3月9日)	18,676	0	45.0	1,917.68	38.1	96.0	—	2,330
21期 (2022年3月9日)	17,090	0	△8.5	1,758.89	△8.3	95.4	—	2,160
22期 (2023年3月9日)	20,308	0	18.8	2,071.09	17.7	94.2	—	2,506
23期 (2024年3月11日)	25,297	0	24.6	2,666.83	28.8	96.3	—	2,935

(注1) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注3) 東証株価指数 (TOPIX) の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利は J P X が有しています。J P X は、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません (以下同じ)。

(注4) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		東証株価指数 (TOPIX)		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	(ベンチマーク)	騰落率		
(期首) 2023年3月9日	円	%	ポイント	%	%	%
	20,308	—	2,071.09	—	94.2	—
3月末	19,877	△2.1	2,003.50	△3.3	94.0	—
4月末	20,184	△0.6	2,057.48	△0.7	94.9	—
5月末	21,259	4.7	2,130.63	2.9	95.0	—
6月末	22,633	11.4	2,288.60	10.5	94.2	—
7月末	22,847	12.5	2,322.56	12.1	94.7	—
8月末	22,694	11.7	2,332.00	12.6	95.0	—
9月末	22,476	10.7	2,323.39	12.2	94.1	—
10月末	21,673	6.7	2,253.72	8.8	93.9	—
11月末	22,885	12.7	2,374.93	14.7	94.7	—
12月末	22,927	12.9	2,366.39	14.3	94.7	—
2024年1月末	24,446	20.4	2,551.10	23.2	95.1	—
2月末	25,438	25.3	2,675.73	29.2	95.4	—
(期末) 2024年3月11日	25,297	24.6	2,666.83	28.8	96.3	—

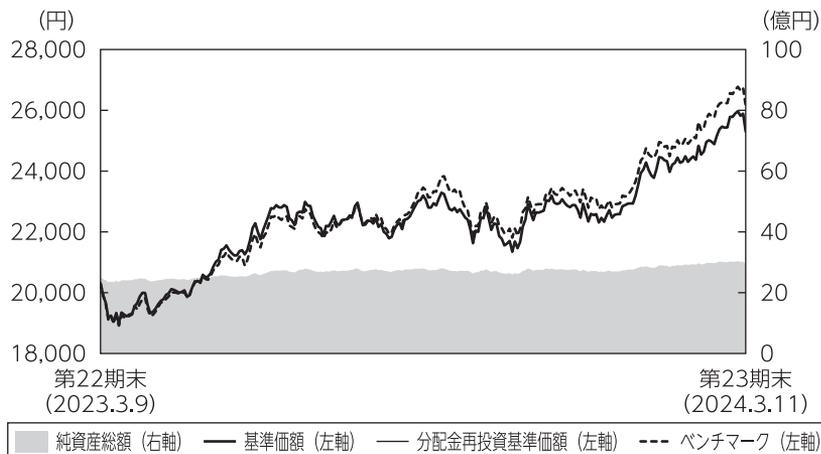
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過 (2023年3月10日から2024年3月11日まで)

基準価額等の推移



第23期首 : 20,308円
第23期末 : 25,297円
(既払分配金0円)
騰落率 : 24.6%
(分配金再投資ベース)

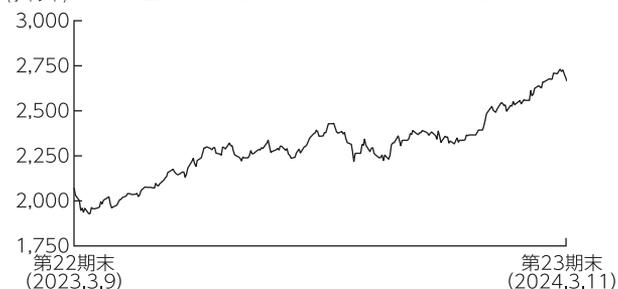
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

「日本株式マザーファンド」(以下、マザーファンド) 受益証券への投資を通じて、国内株式に投資を行った結果、円安・ドル高の進行や堅調な企業業績などにより、国内株式市場が上昇したことから、基準価額は上昇しました。

投資環境

(ポイント) <東証株価指数 (TOPIX) の推移>



当期の株式市場は東証株価指数 (TOPIX) でみると、28.8%上昇しました。期首から6月にかけては、米景気の減速懸念が和らいだことや日銀の緩和的な金融政策の継続などによる円安・ドル高の進行、海外投資家の継続的な買いなどから上昇しました。その後は日米の金融政策の動向によって一進一退となりましたが、年明け以降は円安・ドル高に再び進行したことや堅調な企業決算などから一段と上昇しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

当ファンドは、マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

●日本株式マザーファンド

中長期的に株主価値が高まっていく方向にあると期待される企業群の中からバリュエーション面でも魅力が高いと判断される企業を選別して投資しました。具体的には、「ソフトバンクグループ」、「オービック」、「テルモ」、「日本電気」などを購入しました。一方で「アドバンテスト」、「浜松ホトニクス」、「トヨタ紡織」、「ライフドリンク カンパニー」などについて売却を実施しました。

【組入上位業種】

期 首		
順位	業 種	比率
		%
1	電気機器	16.4
2	情報・通信業	9.7
3	輸送用機器	9.1
4	サービス業	7.0
5	化学	6.8
6	銀行業	6.4
7	保険業	6.0
8	卸売業	5.7
9	医薬品	4.6
10	機械	4.5

期 末		
順位	業 種	比率
		%
1	電気機器	15.6
2	輸送用機器	10.9
3	情報・通信業	10.4
4	サービス業	7.5
5	保険業	7.4
6	化学	7.2
7	銀行業	7.0
8	卸売業	5.6
9	精密機器	5.5
10	機械	3.8

(注) 比率は、日本株式マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

【組入上位銘柄】

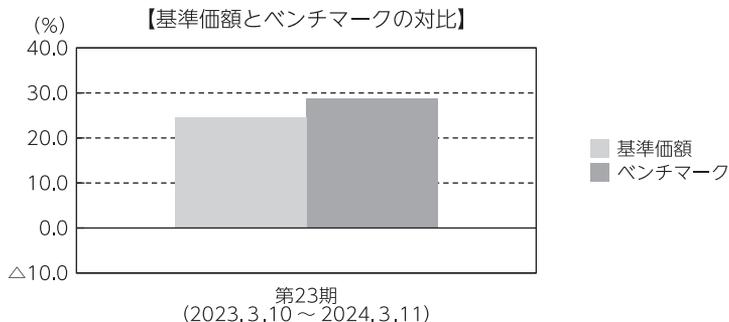
期 首		
順位	銘 柄	比率
		%
1	三井住友フィナンシャルグループ	5.4
2	トヨタ自動車	4.1
3	ソニーグループ	3.8
4	伊藤忠商事	2.9
5	T&Dホールディングス	2.8
6	MS&ADインシュアランスグループホールディングス	2.6
7	キーエンス	2.5
8	日本電信電話	2.4
9	デンソー	2.1
10	HOYA	2.0

期 末		
順位	銘 柄	比率
		%
1	トヨタ自動車	6.4
2	三井住友フィナンシャルグループ	5.6
3	MS&ADインシュアランスグループホールディングス	3.7
4	伊藤忠商事	3.7
5	ソニーグループ	3.5
6	T&Dホールディングス	3.2
7	信越化学工業	2.5
8	デンソー	2.5
9	HOYA	2.5
10	キーエンス	2.4

(注) 比率は、日本株式マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

ベンチマークとの差異について

マザーファンド受益証券への投資を通じて、国内株式に投資を行った結果、ベンチマークを4.2%下回りました。「リロググループ」、「プラスアルファ・コンサルティング」などがマイナスに影響しましたが、「アドバンテスト」、「MS & ADインシュアランスグループホールディングス」などがプラスに寄りました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金は、基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2023年3月10日 ～2024年3月11日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	20,320円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

当ファンドの運用方針に従い、マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持します。

●日本株式マザーファンド

今後の国内株式市場は、金融政策の動きには留意が必要と考えますが、デフレ脱却への期待感などから緩やかな上昇が続くものと予想します。今期についても、中長期的に株主価値が高まっていく企業群で、且つバリュエーション面でも魅力が高いと見込まれる企業に選別投資していくことで、TOPIX対比での超過収益獲得に努める所存です。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第23期		項目の概要
	(2023年3月10日 ～2024年3月11日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	366円	1.637%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は22,346円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(143)	(0.641)	
(販売会社)	(203)	(0.907)	
(受託会社)	(20)	(0.088)	
(b) 売買委託手数料	5	0.020	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(5)	(0.020)	
(c) その他費用	0	0.002	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	
合計	371	1.659	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

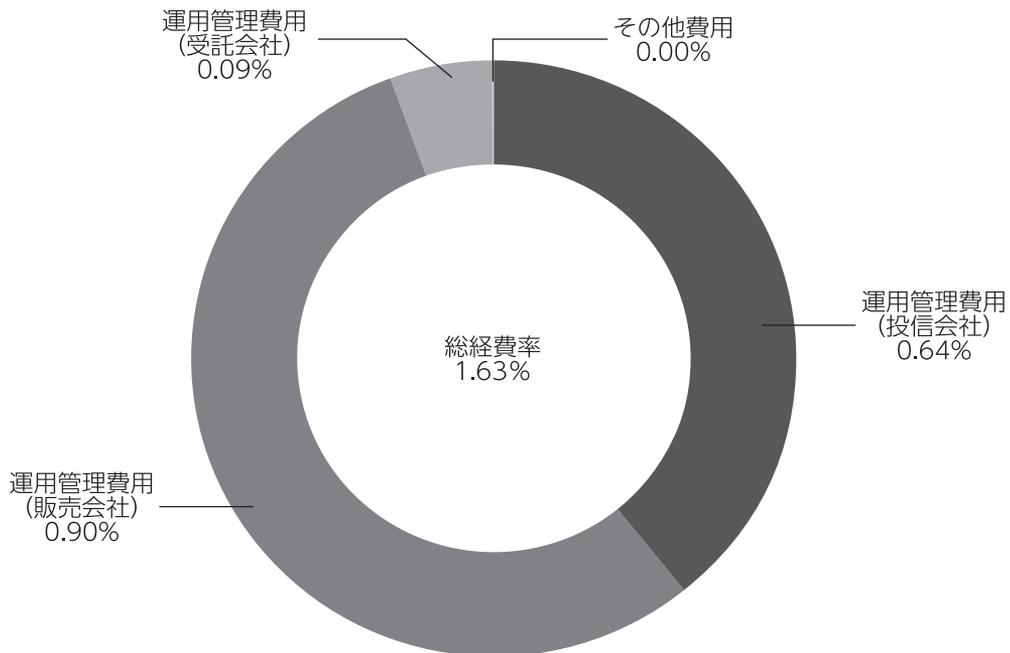
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.63%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2023年3月10日から2024年3月11日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
日本株式マザーファンド	千□ 151,814	千円 482,000	千□ 217,555	千円 700,820

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	日本株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,074,620千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	2,569,696千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.41

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等（2023年3月10日から2024年3月11日まで）

【MHAM日本株式<DC年金>における利害関係人との取引状況等】

(1) 期中の利害関係人との取引状況

期中の利害関係人との取引はありません。

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	549千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	52千円
(B) / (A)	9.6%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

【日本株式マザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

(1) 期中の利害関係人との取引状況

区 分	当 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$ %
株 式	百万円 471	百万円 32	6.9	百万円 602	百万円 65	10.9

平均保有割合 100.0%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(2) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	当 期
	買 付 額
株 式	百万円 2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	期首(前期末)	当 期	
	□ 数	□ 数	評 価 額
日 本 株 式 マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 860,841	千口 795,099	千円 2,906,010

■投資信託財産の構成

2024年3月11日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
日 本 株 式 マ ザ ー フ ァ ン ド	千円 2,906,010	% 97.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	73,498	2.5
投 資 信 託 財 産 総 額	2,979,509	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年3月11日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,979,509,228円
コール・ローン等	55,748,670
日本株式マザーファンド(評価額)	2,906,010,558
未 収 入 金	17,750,000
(B) 負 債	43,853,033
未 払 解 約 金	20,964,228
未 払 信 託 報 酬	22,866,961
そ の 他 未 払 費 用	21,844
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	2,935,656,195
元 本	1,160,482,855
次 期 繰 越 損 益 金	1,775,173,340
(D) 受 益 権 総 口 数	1,160,482,855口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	25,297円

(注) 期首における元本額は1,234,346,868円、当期中における追加設定元本額は389,638,466円、同解約元本額は463,502,479円です。

■損益の状況

当期 自2023年3月10日 至2024年3月11日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△11,908円
受 取 利 息	3,306
支 払 利 息	△15,214
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	552,469,007
売 買 益	646,761,973
売 買 損	△94,292,966
(C) 信 託 報 酬 等	△44,176,055
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	508,281,044
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	319,842,884
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	947,049,412
(配 当 等 相 当 額)	(1,528,744,189)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△581,694,777)
(G) 合 計 (D + E + F)	1,775,173,340
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	1,775,173,340
追 加 信 託 差 損 益 金	947,049,412
(配 当 等 相 当 額)	(1,530,039,646)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△582,990,234)
分 配 準 備 積 立 金	828,123,928

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	42,551,839円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	465,729,205
(c) 収 益 調 整 金	1,530,039,646
(d) 分 配 準 備 積 立 金	319,842,884
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,358,163,574
(f) 1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	20,320.54
(g) 分 配 金	0
(h) 1 万 口 当 た り 分 配 金	0

■分配金のお知らせ

当期の収益分配金は、基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。

日本株式マザーファンド

運用報告書

第23期（決算日 2024年3月11日）

（計算期間 2023年3月10日～2024年3月11日）

日本株式マザーファンドの第23期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2001年11月5日から無期限です。
運用方針	わが国の株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。 中長期的にベンチマークである東証株価指数（TOPIX）を上回る運用成果を目指します。
主要投資対象	わが国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		東証株価指数（TOPIX） （ベンチマーク）		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率			
19期（2020年3月9日）	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
20期（2021年3月9日）	17,401	△7.2	1,388.97	△12.2	97.2	—	3,272
21期（2022年3月9日）	25,692	47.6	1,917.68	38.1	97.0	—	3,829
22期（2023年3月9日）	23,852	△7.2	1,758.89	△8.3	96.4	—	3,326
23期（2024年3月11日）	28,832	20.9	2,071.09	17.7	95.2	—	2,481
	36,549	26.8	2,666.83	28.8	97.2	—	2,905

（注1）株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

（注2）東証株価指数（TOPIX）の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません（以下同じ）。

（注3）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

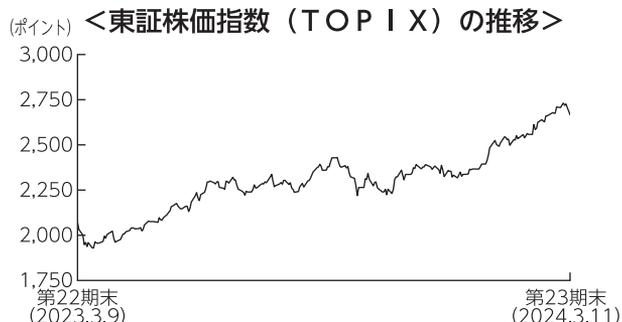
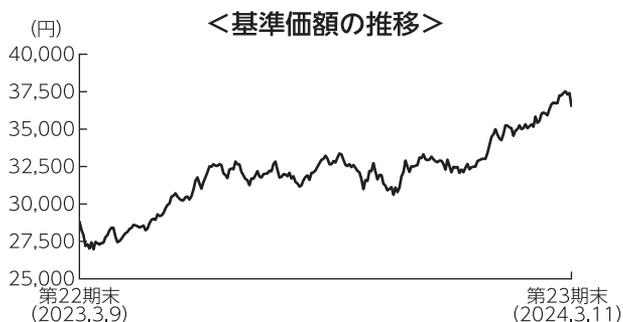
■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		東証株価指数 (TOPIX)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	円	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
(期 首) 2023年 3月 9日	28,832	% -	ポイント 2,071.09	% -	% 95.2	% -
3月末	28,240	△2.1	2,003.50	△3.3	94.9	-
4月末	28,713	△0.4	2,057.48	△0.7	95.8	-
5月末	30,299	5.1	2,130.63	2.9	95.9	-
6月末	32,318	12.1	2,288.60	10.5	95.1	-
7月末	32,669	13.3	2,322.56	12.1	95.6	-
8月末	32,490	12.7	2,332.00	12.6	96.0	-
9月末	32,213	11.7	2,323.39	12.2	95.1	-
10月末	31,095	7.8	2,253.72	8.8	94.8	-
11月末	32,893	14.1	2,374.93	14.7	95.7	-
12月末	32,995	14.4	2,366.39	14.3	95.6	-
2024年 1月末	35,250	22.3	2,551.10	23.2	96.0	-
2月末	36,739	27.4	2,675.73	29.2	96.4	-
(期 末) 2024年 3月11日	36,549	26.8	2,666.83	28.8	97.2	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2023年3月10日から2024年3月11日まで）



基準価額の推移

当ファンドの基準価額は36,549円となり、前期末比で26.8%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

円安・ドル高の進行や堅調な企業業績などにより、国内株式市場が上昇したことから、基準価額は上昇しました。

投資環境

当期の株式市場は東証株価指数（TOPIX）で見ると、28.8%上昇しました。期首から6月にかけては、米景気の減速懸念が和らいだことや日銀の緩和的な金融政策の継続などによる円安・ドル高の進行、海外投資家の継続的な買いなどから上昇しました。その後は日米の金融政策の動向によって一進一退となりましたが、年明け以降は円安・ドル高に再び進行したことや堅調な企業決算などから一段と上昇しました。

ポートフォリオについて

中長期的に株主価値が高まっていく方向にあると期待される企業群の中からバリュエーション面でも魅力が高いと判断される企業を選別して投資しました。具体的には、「ソフトバンクグループ」、「オービック」、「テルモ」、「日本電気」などを購入しました。一方で「アドバンテスト」、「浜松ホトニクス」、「トヨタ紡織」、「ライフドリンク カンパニー」などについて売却を実施しました。

【組入上位業種】

期 首		
順位	業 種	比率
		%
1	電気機器	16.4
2	情報・通信業	9.7
3	輸送用機器	9.1
4	サービス業	7.0
5	化学	6.8
6	銀行業	6.4
7	保険業	6.0
8	卸売業	5.7
9	医薬品	4.6
10	機械	4.5

期 末		
順位	業 種	比率
		%
1	電気機器	15.6
2	輸送用機器	10.9
3	情報・通信業	10.4
4	サービス業	7.5
5	保険業	7.4
6	化学	7.2
7	銀行業	7.0
8	卸売業	5.6
9	精密機器	5.5
10	機械	3.8

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

【組入上位銘柄】

期 首		
順位	銘 柄	比率
		%
1	三井住友フィナンシャルグループ	5.4
2	トヨタ自動車	4.1
3	ソニーグループ	3.8
4	伊藤忠商事	2.9
5	T&Dホールディングス	2.8
6	MS&ADインシュアランスグループホールディングス	2.6
7	キーエンス	2.5
8	日本電信電話	2.4
9	デンソー	2.1
10	HOYA	2.0

期 末		
順位	銘 柄	比率
		%
1	トヨタ自動車	6.4
2	三井住友フィナンシャルグループ	5.6
3	MS&ADインシュアランスグループホールディングス	3.7
4	伊藤忠商事	3.7
5	ソニーグループ	3.5
6	T&Dホールディングス	3.2
7	信越化学工業	2.5
8	デンソー	2.5
9	HOYA	2.5
10	キーエンス	2.4

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

ベンチマークとの差異について

国内株式に投資を行った結果、ベンチマークを2.0%下回りました。「リログループ」、「プラスアルファ・コンサルティング」などがマイナスに影響しましたが、「アドバンテスト」、「MS & ADインシュアランスグループホールディングス」などがプラスに寄与しました。

今後の運用方針

今後の国内株式市場は、金融政策の動きには留意が必要と考えますが、デフレ脱却への期待感などから緩やかな上昇が続くものと予想します。今期についても、中長期的に株主価値が高まっていく企業群で、且つバリュエーション面でも魅力が高いと見込まれる企業に選別投資していくことで、TOPIX対比での超過収益獲得に努める所存です。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式)	7円 (7)	0.020% (0.020)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
合計	7	0.020	
期中の平均基準価額は32,006円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2023年3月10日から2024年3月11日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上 場	千株 133.1 (441.6)	千円 471,842 (-)	千株 271.9	千円 602,777

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,074,620千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	2,569,696千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.41

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等 (2023年3月10日から2024年3月11日まで)

(1) 期中の利害関係人との取引状況

決算期	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
株 式	百万円 471	百万円 32	% 6.9	百万円 602	百万円 65	% 10.9

(2) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	当 期
	買 付 額
株 式	百万円 2

(3) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額(A)	549千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額(B)	52千円
(B)／(A)	9.6%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

国内株式

銘柄	期首(前期末) 当期末		
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
水産・農林業 (-%)			
サカタのタネ	4.4	-	-
建設業 (2.8%)			
大和ハウス工業	11.3	11.3	48,217
エクシオグループ	9.5	9.5	30,371
食料品 (2.3%)			
寿スピリッツ	1.9	-	-
ライフドリンク カンパニー	5.3	-	-
キッコーマン	2.3	1	9,392
味の素	3.3	-	-
ニチレイ	-	8.6	34,159
東洋水産	-	2.4	20,553
繊維製品 (0.6%)			
東レ	24.7	24.6	17,133
化学 (7.4%)			
クラレ	-	11.8	17,328
クレハ	1	-	-
信越化学工業	2.2	11.6	74,054
日本酸素ホールディングス	-	4.3	20,558
戸田工業	2.7	-	-
日本触媒	3.1	-	-
旭有機材	-	3.9	18,486
ADEKA	5.6	-	-
富士フィルムホールディングス	3.1	3.1	29,899
ファンケル	6.1	7.2	14,893
I-o-n-e	1.8	-	-
ユニ・チャーム	6.5	7	34,195
医薬品 (3.5%)			
中外製薬	9.3	5.9	38,426
JCRファーマ	10.1	9.1	7,862
ソーせいグループ	7.3	-	-
第一三共	11	11	53,119
ガラス・土石製品 (1.4%)			
日東紡績	2.3	2.3	12,512
東海カーボン	18.1	-	-
フジミインコーポレーテッド	1.7	7.6	27,550
鉄鋼 (1.3%)			
大同特殊鋼	4.2	21	37,485
非鉄金属 (1.8%)			
UACJ	4.4	5.8	23,838
住友電気工業	12.2	12.2	26,809
機械 (3.9%)			
SMC	0.6	0.6	51,918
ハーモニック・ドライブ・システムズ	5	4.1	17,261
ダイキン工業	1.9	2	40,360

銘柄	期首(前期末) 当期末		
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
電気機器 (16.0%)			
イビデン	3.1	1.7	11,514
ニデック	2.1	-	-
日本電気	-	2.8	27,778
ルネサスエレクトロニクス	19	19	48,070
ソニーグループ	7.8	7.9	100,685
TDK	6.3	6.8	50,653
メイコー	6	4.2	20,517
リオン	7.4	7.4	22,348
アドバンテスト	3.4	7.7	50,812
キーエンス	1	1	70,780
シスメックス	1.5	0.8	6,480
ファナック	0.8	4	17,356
ローム	2.3	10.6	25,938
浜松ホトニクス	4	-	-
輸送用機器 (11.2%)			
トヨタ紡織	11.6	-	-
デンソー	6.7	27.2	73,168
トヨタ自動車	53.5	53.5	187,143
スズキ	9.2	9.2	56,377
精密機器 (5.6%)			
テルモ	-	7.3	41,704
島津製作所	6	5.2	21,762
オリンパス	2.4	-	-
HOYA	3.5	3.7	71,299
朝日インテック	10.7	8.1	24,174
その他製品 (-%)			
ヤマハ	3.9	-	-
陸運業 (3.2%)			
東武鉄道	6.4	6.4	24,691
東急	18	18	34,749
富士急行	4	3.4	13,158
センコーグループホールディングス	14.9	14.9	16,464
情報・通信業 (10.7%)			
TIS	4.4	-	-
GMOペイメントゲートウェイ	2.2	2.2	22,836
うるる	7.8	6.9	11,267
マネーフォワード	2	2	12,862
プラスアルファ・コンサルティング	8.3	8.3	20,658
ビジョナル	2	1.4	12,586
野村総合研究所	5.7	7	29,869
Sansan	11.7	11.7	20,194
JMDC	5.4	5.6	20,563
オービック	-	0.9	20,533
AVILEN	-	0.1	286

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
日本電信電話	14.8	297.4	54,245
コナミグループ	1.8	3.6	35,974
ソフトバンクグループ	-	4.8	41,400
卸売業 (5.7%)			
伊藤忠商事	16.7	16.7	106,629
三井物産	8.4	8.4	54,784
パリュエンスホールディングス	3.9	-	-
ミスミグループ本社	7.3	-	-
銀行業 (7.2%)			
三菱UFJフィナンシャル・グループ	26.8	26.8	42,022
三井住友フィナンシャルグループ	21.3	18.4	161,404
保険業 (7.6%)			
アニコム ホールディングス	26.4	28.4	16,131
MS&ADインシュアランスグループホールディングス	13.7	13.7	107,545
T&Dホールディングス	34.9	34.9	92,362
サービス業 (7.7%)			
学情	-	8.5	14,841
新日本科学	9.4	4.2	6,480
エムスリー	6.1	6.1	12,703
リクルートホールディングス	4.1	5.2	33,358

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
ポート	-	3.9	8,607
TWOSTONE&Sons	4.5	-	-
LITALICO	8.9	8.9	19,072
セルム	14.6	-	-
リログループ	12.1	8.2	9,659
サンウェルズ	-	5.5	15,455
プログリット	-	14.4	19,699
共立メンテナンス	3.1	3.1	18,804
セコム	-	3	33,705
ダイセキ	6.2	6.8	25,398
合 計	千株	千株	千円
株 数 ・ 金 額	692.9	995.7	2,825,950
銘 柄 数 < 比 率 >	85銘柄	79銘柄	<97.2%>

(注1) 銘柄欄の()内は、期末の国内株式評価額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の< >内は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨ててあります。

■投資信託財産の構成

2024年3月11日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
株 式	千円 2,825,950	% 96.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	97,775	3.3
投 資 信 託 財 産 総 額	2,923,726	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年3月11日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,923,726,723円
コール・ローン等	95,982,213
株式(評価額)	2,825,950,910
未 収 配 当 金	1,793,600
(B) 負 債	17,750,000
未 払 解 約 金	17,750,000
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	2,905,976,723
元 本	795,099,882
次 期 繰 越 損 益 金	2,110,876,841
(D) 受 益 権 総 口 数	795,099,882口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	36,549円

(注1) 期首元本額	860,841,278円
追加設定元本額	151,814,162円
一部解約元本額	217,555,558円
(注2) 期末における元本の内訳	
MHAM日本株式<DC年金>	795,099,882円
期末元本合計	795,099,882円

■損益の状況

当期 自2023年3月10日 至2024年3月11日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	48,098,183円
受 取 配 当 金	48,137,368
受 取 利 息	1,024
そ の 他 収 益 金	1,016
支 払 利 息	△41,225
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	594,730,758
売 買 益	714,341,852
売 買 損	△119,611,094
(C) 当 期 損 益 金(A + B)	642,828,941
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	1,621,126,504
(E) 解 約 差 損 益 金	△483,264,442
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	330,185,838
(G) 合 計(C + D + E + F)	2,110,876,841
次 期 繰 越 損 益 金(G)	2,110,876,841

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。